

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	EMCシンポジウム開催事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	産業経済部	課等名	工業課		包含する細々目	1	7	1	5	10	12	500
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり											
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議		不要	地域経済活性化プログラム					
		事業期間	12	年度～	年度	関連計画条例等						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	地元EMC関連企業技術者	EMC関連企業数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	30
			20			
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	EMC技術の向上	EMCセンターの地元利用企業数	18目標	5	最終目標	
			18実績	7	19目標	10
			23目標	15	23実績	
			18目標		最終目標	
			18実績		19目標	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	飯田EMCセンターを核にした学会的な機会を設けることで地域内外へのEMC対策技術の浸透を図ることを目的として開催する。電磁波影響防止技術に関して、学会や業界で指導的な立場にある講師を招いて年1回、シンポジウムを行う。	EMCシンポジウムの企画及び運営、より地元企業に密着したEMCの課題を研究する委員会としての役割を果たせるよう、更に地域内製造業の技術発展につなげる	EMCシンポジウム参加人数 委員会開催回数	70人 6回
	18年度の実績			
	19年度計画	EMCシンポジウムの開催(市制70周年事業) EMC委員会の開催 EMC学会の検討	EMCシンポジウム参加人数 委員会開催回数	

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	500	500
	事業費計(A)	500	500
人件費	正規職員所要時間	18年度 80	19年度 80
	臨時職員等所要時間	10	10
	人件費計(B)	297	297
	トータルコストA+B	797	797

特定財源内訳や補足事項	参加者負担金、地場産負担金 1,000千円
-------------	-----------------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	出荷額を高める活動をする	地域経済自立度(%)	現状値	45.4	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	60
		製造品出荷額(億円)	現状値	3700	19実績	
			20実績		21実績	

22実績 23目標 4070

<p>この事業を開始したきっかけ</p> <p>平成10年にEMCセンターが設立されたことを記念して、当施設を核にした学会的な機会を設けることで地域内外へのEMC対策技術の浸透を目的として開催した。</p>	<p>事業を取り巻く状況の変化</p> <p>・EMC環境は拡大傾向にあり、関連する対策技術の重要性はさらに高まっている。</p>	<p>事業に対する市民や議会の意見</p> <p>・シンポジウム参加者からは講演テーマや交流会について良い評価を得ている。</p>
--	--	--

【See】18年度の振り返り

目的妥当性評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	<p>(評価) 結びつく (その理由)</p> <p>関連企業にとってEMC技術者から最新の情報を得ることでEMCへの理解が深まる。</p>	有効性評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	<p>(評価) 余地がある (その理由)</p> <p>今回からEMC委員会を組織して計画等立ててきたが、当日の運営にも深く関わってもらうことで、企業主体の取り組みとしてPRできるし、事業継続につながる。</p>
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	<p>(評価) 必要性がない (その理由)</p> <p>地元内外のEMC関連企業の技術者を対象に事業を展開している。</p>		廃止・休止した場合の影響はありますか？	<p>(評価) 影響あり (その理由)</p> <p>EMC技術は、研究開発や商品開発をしていくためには避けて通れない。技術者がEMC最新技術を習得できないことは企業の衰退につながる可能性がある。</p>
	意図の見直しの必要性はありますか？	<p>(評価) 必要性がない (その理由)</p> <p>EMC対策は今後ますます重要になってくるため、EMC技術を習得することは必要不可欠である。</p>		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	<p>(評価) 統合不可能 (類似事業名、理由)</p> <p>東京、関西では開催されているが、中部地域では、本市だけである。参集対象者が異なるため、統合は困難である。</p>
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	<p>(評価) 必要ある (その理由)</p> <p>地域内企業の競争力を高めるためには、市の関与は必要である。また、EMC技術は環境を良くする技術であり、市の重要施策のひとつである。</p>		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	<p>(評価) 可能 (その理由)</p> <p>委員会を組織し、当日の運営等は、委員が関わることで職員の動員は最小限で実施することができる。</p>
			公平性評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	<p>(評価) 妥当である (受益者とその理由)</p> <p>参加者全員から参加費を負担していただいている。事業の内容や地域性から妥当と考える。</p>

【Plan】改革改善

<p>今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 終了</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止</p> <p><input type="checkbox"/> 休止</p> <p><input type="checkbox"/> 目的見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 別事業に統合</p> <p><input type="checkbox"/> 事業のやり方改善</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 → 具体化</p>	<p style="text-align: center;">何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p> <p>EMC委員会を開催し、シンポジウムの企画・運営を主体的に取り組んでもらうことが可能となった。</p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p> <p>EMC委員に企画・運営に積極的に参加してもらうことにより、EMC技術のPRに努める。参加者に興味を持ってもらうテーマの選定が必要である。20年度のEMC学会開催に向けての検討を行う。</p>
---	---

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	